

科目名		インテリア実務			
担当教員	木戸 久美子		実務授業の有無	○	
対象学科	インテリアデザイン科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	32時間
授業概要、目的、授業の進め方	建築の基本的なコスト考え方と積算の手法をインテリアにかかわる工種に絞り講義と演習を通して学ぶ。 1. 建築計画に必要な各条件、工法にもとづいた積算の考え方の重要性を学ぶ。 2. 条件と規制に則した計算方法と進め方の基本を理解する。 3. 講義→演習→解答→解説を繰り返すことで重要性を理解する。				
学習目標 (到達目標)	建築物のコストの成り立ちを理解する。 設計でも施工でも避けて通ることのできない業務であるため、実践に即した形で理解を進める。 各工種のうち、インテリアについて、これだけは知っておかねばならないという工種に絞り、積算の仕方を会得する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①演習問題プリント				
NO.	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	建築物の企画～施工までの流れ ①建築物の計画から基本設計・実施設計、 ②見積・入札・契約・受注 ①～②のプロセス	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 実践例題を使って、演習を加え答練しより理解度を深める 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の予習			
2	数量と単位 ①積算特有の決まりごと	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 実践例題を使って、演習を加え答練しより理解度を深める 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の予習			
3	積算実践（内部仕上げ） ①内部仕上の数量	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 実践例題を使って、演習を加え答練しより理解度を深める 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の予習			
4	積算実践（家具） ①造作家具の積算、 ②見積について学ぶ	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 実践例題を使って、演習を加え答練しより理解度を深める 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の予習			
5	積算実践（窓装飾） ①窓装飾の積算、 ②見積について学ぶ	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 実践例題を使って、演習を加え答練しより理解度を深める 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の予習			
6	インテリアエレメントの種類 ①窓装飾の積算、 ②見積について学ぶ	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 実践例題を使って、演習を加え答練しより理解度を深める 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の予習			
7	見積作成 ①内部仕上と各種インテリアエレメントを合わせた見積書	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 実践例題を使って、演習を加え答練しより理解度を深める 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の予習			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
期末テスト、小テスト、授業態度を総合的に評価 期末試験70%、小テスト20%、授業態度・出席率10%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		解説を行い→演習する の形式でテーマの習得を目指す 電卓を使う演習が多いため、必ず用意させる。 積算はコストを左右する重要な業務でありながら、社会では「できて当たり前」と考えられていたため、マスターすることが基本。各テーマごとの演習が重要なので、理解するまで確実に取り組ませる。			
実務経験教員の経歴	インテリアコーディネーターとして22年実務に携わる				